

【フリートーク】

令和4年4月17日（日）のフリートークは「姿見の池の現況と復活の歴史」について正しく理解するための討論でした。

姿見の池は、“鎌倉時代、遊女達が朝な夕なに自らの姿を映して見ていたという伝承に彩られた池です。“と市のホームページに紹介されています。平成5年度にその一部が東京都の「国分寺姿見の池緑地保全地域」に指定されました。平成11年度に湿地、用水路、水辺林等を含めた池

周辺地域として整備され、かつての武蔵野の里山風景を見ることができる、市外からも多くの方が訪れる観光拠点となっています。そして市民にとっても様々な生き物、植物が生息する憩いの場ともなっている大切な場所です。しかし、姿見の池に流れ込む水が少なくなる時期、また水面に藻が浮かび上がるこれからの季節には、水が濁り、水の匂いが臭い、生き物の種類が減ったなどの意見が出るようになってきました。美しい水をたたえ、生き物が増え、野草が美しい花を咲かせる持続可能な生物多様性に富んだ所にしたい、そのために今までの姿見の池の変遷を正しく理解しようというひろば会員の討議でした。

池の歴史を振り返ると、江戸期には、市重要史跡の恋ヶ窪村分水や、熊野神社付近の恋ヶ窪谷や日影山の湧水から水が流れ込む美しい池で、周りは田畑に囲まれていました。恋ヶ窪村分水からの水が流れなくなり、宅地開発で湧水も減少した昭和40年代には、埋め立てられ、資材置き場や駐車場になっていました。

平成3年、JR新小平駅が大量の地下水の流れ込みにより水没し、武蔵野線が数カ月にわたって区間運休するという事故が発生しました。また、西恋ヶ窪3丁目の住宅が床下浸水する被害も発生しました。平成5年、現在の姿見の池と中央線の間が東京都緑地保全地区に指定され、姿見の池再生の水源としての利用を国分寺市がJR東日本に交渉するも難航しましたが、平成8年から国分寺市、東京都、JR東日

本の3者で協議を重ね、平成12年3月に、水量最大3,000トン/日の地下水を、姿見の池及び野川へ導水するという協議が成立しました。

こうして、それまで資材置き場や駐車場であった場所に現在の姿見の池が復元されたのです。左の写真は、平成14年3月に完了した導水工事直後の姿見の池の写真です。

（裏面につづく）



かつて、恋ヶ窪村と国分寺村のみであった時代から戦前までは、姿見の池は伝承のように、姿見の池の周りの澄んだ湧水や玉川上水から多摩川の水が恋ヶ窪村分水を経て流れ込み、伝説の鏡のような美しい水をたたえた池だったのでしよう。

フリートークではこうした背景を理解した上で、この自然の整備の在り方、課題となっている池の浄化など次回に十分討議することになりました。姿見の池を一層安らげる空間とするためのフリートークに、皆さんの参加をお待ちしています。



【身近な生きものさがし】

市では、第二次国分寺市環境基本計画に基づき、多様な生き物の生息空間の保全に向けて、市民の皆さんの協力を得ながら、市内の動植物調査を実施しています。指標種を中心に、動植物がどの地域に生育・生息しているのか、また、経年変化を把握するため、皆さんが見つけた生きものの場所や日時等の情報を募集しています。なお、報告するにあたって注意事項がありますので、事前に手引きを確認してください。記録用紙と手引きは、まちづくり計画課（市役所第2庁舎・国分寺駅北口事務所）、各公民館・地域センター、cocobunji プラザ（cocobunji WEST5階）、福祉センター、いずみプラザ、ひかりプラザで配架しています。※市HPからダウンロードもできます。（市HPページ番号：1019251）

①市内の探してほしい生きもの 「鳥類：オナガ・ツバメ」、 「昆虫：カブトムシ、アゲハチョウの間」、 「植物：ネジバナ・どんぐり類」、 「両生類・は虫類：ヒキガエル・ニホンヤモリ」。

※上記以外でも見つけた生きものの情報をお寄せください。

②探す期間 令和4年10月31日（月）まで

③報告期限 令和4年11月15日（火）まで（期間中何度でも報告可。）

④報告方法 記録用紙にご記入をお願いします。写真があればあわせてご提供をお願いします（どちらも電子データでの提出可）。まちづくり計画課へメール、FAX、郵送（消印有効）または窓口提出のいずれかの方法で提出してください。期間中何度でも提出可能です。皆様ご協力をお願いします。※ご提供いただいた写真等は、今後市の資料等を作成の際に使用させていただく場合があります。ご返却できないことご了承ください。



環境ひろばのお知らせ

6月19日（日）午前10時～正午 市役所 書庫棟（戸倉1-6-1）

『環境ひろば』は、環境（保全、回復、創造）について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆さんのご参加をお待ちしています。

（あとがき）素晴らしい自然を満喫できる場であった姿見の池は、時代と共に変化し、その時々での判断でかたちを変えてきた事が、よく理解できました。復元の在り方を考えさせられたとともに、ではどうすれば良いのかと思いは深まります。そのための課題は様々あるでしょう。環境保全について議論を深めるため、ぜひ、皆様の参加をお願いします。（佐藤）

国分寺市環境ひろば 事務局

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課
〒185-0012

国分寺市本町4-1-9 本町クリスタルビル4階
国分寺駅北口事務所

TEL：042-314-9005（直通）

FAX：042-323-9060

Eメール：machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp